

かつごう
2月号

発行日：令和7年1月31日
発行者：京都市やましな学園
園長 高橋憲二

がくえん やましな学園だより



今年は暖冬で例年に比べ暖かい日が続いていますが、インフルエンザやコロナウイルス感染症が猛威を奮っています。体調を崩さないよう暖かくして手洗い、うがい、咳エチケット守っていきましょう。



◆B型新年会 『人形劇団ムクムク』(就労継続B型)



新年の初イベントとして『人形劇団ムクムク』に来ていただき人形劇を鑑賞しました。一緒に動いて楽しめる演目や光や音を使ったダイナミックな人形劇が繰り広げられ、どんどん物語に引き込まれていきました！人形劇終了後は、「楽しい時間を共有できました、今年も力を合わせて作業を頑張っていきましょう！」と、皆で気持ちを新たに今年のスタートをきりました。「人形劇団ムクムク」さんは、これまでも京都を中心とした各地の施設や学校などで長年にわたり公演されてきました。また、小学校や幼稚園・保育園の先生を自指す学生にむけての指導も行われるなど、幅広く活動されてきました。惜しまれながら今年度で活動は終了されるとのことです。(角)



◆9年振りに初詣に行きました!! (生活介護)



生活介護で9年振りに初詣のプログラムを企画しました。1月6日～1月15日の間に、9グループに分かれて山科区にある「西御坊」「大石神社」「折上神社」「岩屋神社」「毘沙門堂」。滋賀県大津市にある「建部大社」へ初詣に行ってきました。9グループとも晴天に恵まれて拝殿までの参拝ルートを満喫することができました。ご利用者の皆さんは拝殿で二例、二拍手、一礼、「涙山お出かけできますように」「みんなが健康に過ごせますように」「お誕生日にケーキが食べられますように」「正月食べ過ぎたのでダイエット

頑張りたい」などそれぞれに素敵なお願い事をされていました。特に、「涙山お出かけできますように」のお願いごとは、支援員として叶えてあげたい気持ちがあり、利用者には涙山の経験をしてもらいたいです。今回の初詣は大好評でしたので、是非また来年も行きたいと思います。(小西)



基本理念：障がいのある人とその家族が地域のなかで尊厳を保ちながら普通の暮らしができるよう支援する

◆合同福祉センター3階の女子トイレを改修しました！

これまで京都市山科合同福祉センター3階の女子トイレには洋式便座2つ、和式便座3つ（内1つが水漏れで使用不可）が設置されていましたが、和式便座は使うことができる人が限られており、日々利用者の数に対して便座の数に不足を感じていました。

この度、東邦電気産業基金（環境整備事業）から30万円の助成金を交付いただけることになり、1月25日（土）に和式便座から洋式便座への改修工事が完了しました。

「（新しい便座に）きれいになった」「待たずにトイレに行けるようになった」と早速、喜びの声が聞こえてきています。

紙面上ではありますが、あらためて、東邦電気産業様に御礼申し上げます。



※令和7年1月25日（土）に実施した京都市合同福祉センター3階女子トイレの和式から洋式トイレへの

改修工事は、公益財団法人公益推進協会「東邦電気産業基金」による助成事業です

＜お知らせ＞

※ 生活介護事業では1月中旬から個人面談を実施しており、就労継続B型事業でも2月中旬から実施する予定です。いつもお忙しい中お越しいただきありがとうございます。よろしくお願い申し上げます。

※ 2月は、華頂短期大学から2名、実習生が来られる予定です。